

「第 38 回 武庫川河川敷 お掃除会」

仁川合流点

主催：武庫川流域圏ネットワーク

<http://muko.jimdo.com/>

◆重点◆「ゴミ掃除のみ」当日参加も歓迎

◆オオキンケイギク◆駆除は、別途企画

火ばさみ・軍手持参お願い。開始 10 時です。

(「特定外来生物オオキンケイギク駆除の履歴」～裏面参照～)

日時：2024 年 6 月 8 日 (土)
10:00～12:00

降水確率：午前中 50%以上は中止

集合：仁川国際霊園 南の河川敷

- ・阪急「仁川駅」川沿い下流へ、徒歩 20 分
- ・阪急バス「仁川口橋」(「田近野」) 徒歩 5 分
(仁川 9:33 発 逆瀬川行 あり)
(武庫川ネット のぼり目印)



◆兵庫県の協力で行事保険に加入していますが、けがには十分ご注意ください◆

- コロナ・インフルほか体調確認お願い：
体調不良の場合は、参加ご遠慮をお願いします
- 持参品：火ばさみ・軍手 (長靴歓迎)
- 服 装：野外作業に適した長そで・長ズボン・帽子を推奨
- 申込み：「武庫川流域圏ネットワーク事務局」宛
住所、氏名、Tel 記入 6 月 7 日まで
mail: mukogawaken.net@gmail.com
件名＝「お掃除参加」

次回 お掃除会開催日：未定
(10 月頃開催)

連絡先
電話：090-7092-6021 (遠藤)
090-1718-2029 (白神)



環境学習都市にしのみや・
パートナーシップ プログラム

後援：兵庫県 阪神南県民センター／
西宮市／宝塚市

協力：兵庫県 西宮土木事務所／環境都市宝塚推進市民会議／(株)ヤマサ環境エンジニアリング

助成：この事業は、『コープこうべ環境基金』から助成を受けています

特定外来植物オオキンケイギクの駆除について

オオキンケイギクと駆除：北米原産で5～7月に黄色い花をつける。繁殖力が強く、生態系に悪影響を及ぼす。2006年に特定外来生物に指定。栽培・運搬・販売は禁止。

2015年1月、法律の緩和措置により、市民による駆除が容易になった。多年草でもあり完全な駆除は困難だが、根からの抜き取りが一番効果的。抜き取ったオオキンケイギクは、密閉・焼却が必要。



特定外来生物（外来生物法より）：

生態系、ヒトの身体・生命、農林水産業への被害を防止するために、防除の対象と指定された動植物 159 種（2023 年 9 月 1 日現在）。武庫川ではオオキンケイギク、ミズヒマワリ、ヌートリア、アカミミガメ、ブラックバス、ブルーギル、セアカゴケグモ、など。

オオキンケイギク駆除の履歴（No 1～33）

1	2014/06/01	観察のみ	8回	130名	
2	2015/03/08	駆除初回 3100株	10回	130名	初回
3	2015/06/14	97 Kg	11回	100名	
4	2015/09/27	1500 株	駆除会	50名	
5	2015/11/15	150 kg	12回	30名	
6	2016/03/13	約70 袋	13回	160名	
7	2016/05/29	2000株／217 kg	14回	120名	
8	2016/10/29	4500株／89 kg	15回	60名	
9	2017/03/12	7000株／90 kg	16回	80名	
10	2017/05/28	240 kg	17回	80名	
11	2017/11/05	44 kg	18回	40名	
12	2018/03/11	57 kg	19回	35名	
13	2018/05/27	153 kg	20回	80名	
14	2018/10/28	70 kg	21回	25名	
15	2019/03/17	オオキンケイギク中止	22回	20名	後半降雨中止
16	2019/05/12	132 kg	23回	70名	
17	2019/10/27	88 kg	24回	50名	
18	2020/03/08	コロナ中止	25回	恒例の5月は、	
19	2020/09/25	雨天中止	26回	コロナで企画なし	
20	2020/10/25	コロナ後、初回46kg	27回	24名	
21	2021/03/14	38 kg	28回	23名	
22	2021/05/09	コロナ中止	29回	中止	コロナ中止
23	2021/10/31	9 kg	30回	20名	
24	2022/03/13	コロナ中止	31回	中止	コロナ中止
25	2022/04/18	2800株／59 kg	駆除会	26名	仁川駅右岸
26	2022/05/08	1900株／63 kg	32回	40名	
27	2022/06/13	1300株／49 kg	駆除会	13名	仁川駅右岸
28	2022/10/30	17 kg	33回	30名	川西川の左岸
29	2023/03/12	18 kg	34回	25名	仁川口橋
30	2023/04/17	2200株／100 kg	駆除会	20名	仁川駅右岸
31	2023/05/07	雨天中止	35回	中止	
32	2023/10/29	29 kg	36回	23名	仁川口橋
33	2024/04/22	kg	駆除会	名	仁川駅右岸、上流域

2014年(平成26年)6月28日 月曜日

黄色い侵略者 拡散中

西宮市の武庫川河川敷で1日、地元の中生や企業の有志ら約130人が近年、急速に繁殖している特定外来生物「オオキンケイギク」を駆除した。7月にかけて黄色い花を咲かせるが、在来植物の生育場所を奪い、周辺環境を一変させてしまうため、栽培や移動が禁止されているためだ。

奥瀬早雄などに取組む市民らの連携組織「武庫川流域圏ネットワーク」の活動写真。

オオキンケイギク

ワークが飛びかけた。参加者は尼崎、西宮両市の下流域でこみ拾いをし、川との合流点で最終的に「オオキンケイギク」を北米原産。オオキンケイギクは北米原産。病害に強く、かつては道路や堤防の緑化や緑化に使われ、全国的に野生化した。在来の生態系を脅かすため、2006年に特定外来生物として指定されている。

中学生ら130人 武庫川で観察会

川流域では家庭で栽培された種子が飛散などして広がり、昔よく見られていたカワサヤコなどを追いつけている。上田宏一（副代表）は「いま開花期を迎えているが、仁川合流点では昨年の倍以上咲いている。放っておくと来年はさらに増えるだろう。早く対策を取る必要がある」と話していた。（中村尚徳）

オオキンケイギク(手前)の説明を聞く中学生ら＝西宮市



オオキンケイギク
駆除回数

お掃除会
回数

花と種子

